



◎記事から読み取ろう

○報告書をまとめた機関はどこですか。

○報告書をまとめよう。

- ・2015年の発生量は

トン

- ・これは、1980年の

倍

- ・損害額は

ドル

- ・2050年の予測は

ドル

- ・リサイクル率は

%

- ・海に流れ出たプラスチックごみが与える損害は

ドル

プラスチックごみ発生年3億トン 環境流出、損害1.4兆円

世界でプラスチックごみの発生量が増え続けて年間3億トンを超え、環境中に流出して観光や漁業にもたらす悪影響などの損害が年間約130億ドル(約1兆4千億円)に上るとの報告書を、経済協力開発機構(OECD)が4日までにまとめた。プラスチックごみは一部が焼却やリサイクルに回すが、投棄や埋め立てで環境中にたまる量も増えてお



アフリカ・ギニアの海岸にたまった大量のプラスチックごみ。観光業や漁業への悪影響も指摘されている=2017年9月(共同)

り、2050年には約120億トンに達すると予測している。OECDは「プラスチックの使用量増加や不適切な廃棄が環境に深刻な影響を及ぼしている」と指摘。使用抑制やリサイクル強化のため、レジ袋などの使い捨て製品の有料化や課税を各

国が導入する必要があると報告書によると、世界のプラスチックごみの発生量は、最新データの15年に3億200万トンに上り、1980年の約5千万トンから6倍に増えた。一方、リサイクル率は現状で全体の15%程度にとどまっている。欧州連合(EU)は30%近い

の悪影響などで多額の経済損失が生じていると分析した。さらに、海の野生生物の生存を脅かし「プラスチック中の化学物質が食品を通じて人体に入り、人間の健康を脅かすリスクもある」と警告した。

OECDは「海に流れ出たプラスチックごみがアジア・太平洋地域の観光業に与える損害だけでも年間6億2200万ドルに上る」と指摘。海岸のごみの回収作業、観光客の減少、漁業への影響も指摘されている。報告書はリサイクルが進まない理由として、リサイクル品は質が劣ることや、関連業界に零細業者が多いことを挙げた。加工しやすいプラスチックは燃えにくく、燃えにくくする可塑剤や、燃えにくくする難燃剤といった人体や環境に有害な物質が含まれていることも要因だとした。

(佐賀新聞 2018.8.5 付)

◎広げよう・深めよう

○プラスチックごみの悪影響をまとめよう。

◎自分の考えをまとめよう

*友だちと意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○身近な生活の中でプラスチックごみを使わない取り組みでどんなことが実行可能か考えてみよう。